日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

1					
報告者	森田 敏湖	市確認欄			
専門部会名	第3回 ケアマネジメント部会				
日時	令和7年9月30日(火) 13時30分~15時00分			15 時 00 分	
会場	日進市障害者福祉センター 大会議室				
出席者	部会員 5名			事務局 7名	
<u></u> щ <i>т</i> 1	※出席者名簿は、別添のとおり				
傍 聴 者	有り・なし				
次第	 議題 (1)「にも包括ケアシステムの啓発」について (2)「家族支援のあり方と意思決定支援の充実」について その他 本日の決定事項のまとめ及び、次回の検討課題について 				
報告・検討の内容	1 議題 (1)「にも包括ケアシステムの啓発」について 校正が済み、NPO法人じゃんぐるじむがデータを作成中のため、校正を待っている状態。冊数は、市の予算で 400 部 (切り欠きあり、音声コード付き)を予定。(渥美) 大学への啓発に関しては、9月の自殺予防週間のための大学への送付物と一緒に、にも冊子のご案内を封入している。今後、満遍なく大学に周知し、冊子を設置していく予定。市の保健衛生会議が 12 月にあるため、医師会所属の医療機関にはなるが、新しい冊子を配布する予定。(櫻木) 瀬戸保健所での進捗を地域福祉課が報告。 大学への啓発について、保健所も愛知県立大学に働きかけを行う予定だったが、既に大学側で、にも包括の取り組みをされていたため、協働ができなかった。大学への働きかけについては、講師派遣という形で精神保健福祉センターが県内大学に希望調査をかけてはいるものの手が上がっていない。尾張旭市の動きとしては、市の職員向けに、にも包括の研修を行う話が出ている。(櫻木) (QRコード) QRコードを活用した、にも冊子の周知について、部会員に意見を伺う。(武末) ・予算も関係するが、QRコードを活用した方が、啓発資材を置きやすく、PCで冊子の中身の更新ができる利点がある。 ・QRコードをただ置くのではなく、どういう時に見てほしいか、メッセージを添えられるといい。				

- ・ある程度、関心のある方の目に留まるところに設置ができるといい。 A4サイズの紙等に説明をしたうえで、QRコードの案内ができるといい。 い。
- ・かばんに入るサイズで作成できると、周囲に知られずに確認ができ、 有益と思う。
- ・事業所が関係するカフェ等に設置ができるといい。

Q:QRコードの啓発資材を置く場所は?

A: 部会員との協議がいるが、例えば医師会所属の医療機関などがあげられる。

Q:QRコードで読み込んだ先が、どこに繋がるようにするのか?

A:最新情報を提供するため、直接冊子の中身に飛ぶのではなく、日進 市社会福祉協議会や、日進市役所のホームページに一旦飛び、冊子 のご案内ができるといい。市のホームページであれば、閲覧人数の カウントが可能。

Q:「にっしんの福祉」にQRコードを盛り込む頁の余裕はあるのか?

A:お知らせを挟むことは可能だが、福祉と繋がっていない方に向けて、 にっしんの福祉とは別で啓発資材を作製できるといい。

→今年度は、にも冊子の更新を行った。来年度は冊子の啓発をする。啓 発の予算は次年度の日進市社会福祉協議会の啓発予算にのせ、資材の 種類については、期日を設け、部会員から電子連絡帳へルピーネット で意見を伺う。

(2)「家族支援のあり方と意思決定支援の充実」について

家族支援の講義を受ける目的として、部会として取組める内容を明確化 し、他部会への働きかけにより、全部会員の意識を高め、各部会でライフ ステージに取組めるようになるといい。(武末)

最終目標は強度行動障害にさせないことと、意思決定支援の実現である。 事業所と家族で本人の自立に向けた支援ができることが望ましいが、家族 支援の講義を受ける案について、部会員に意見を伺いたい。(日岡)

- ・家族や本人が、障害受容ができるような声掛けや、夫婦で共通認識が できていない場合の声掛けを知りたい。
- ・公的に行われている家族支援を知ったうえで、事業所が補えるといい。 保護者が何を求めているのかを知ることができるといい。
- ・まずは講義を受け、その後に何ができるのかを整理していきたい。
- ・ペアレントトレーニングやペアレントプログラムの養成講座を受けた ことがあるが、見る視点によって異なる子どもの困り感を分析し、保 護者も対応することが大変だった。どう大変でどうなっていくのか講 義で話していただけると、家族に伝えやすいのではないか。
- ・保護者は子どもが生まれて判定されるまで、診断を受けてから受容するまで、得た対応方法を自分に落とし込むことまでも葛藤される。保護者のみで抱え込むのではなく、いくつもの捉え方の相談ができたり、考え方を変えられる機会をもっていた保護者は強度行動障害を防げると思う。そこの重要さを共通認識でもてるといい。
- ・公的な家族支援と繋がれない場合に、身近な事業所に質問が入ると思

- う。講義によって各事業所が取り組める内容を考えられるようになり、 各事業所のスキルアップができるといい。
- ・事業所が現実的に何ができるのか、事業所が着目できていないのか、 できても時間がないのか分からないが、まずはやれることをできたら いい。
- ・誰のために講義を聴くのかをはっきりさせないと、ぶれてしまうのではないか。 意思決定支援ができるように、ケアマネ部会ができることの情報整理ができるといい。

Q:ケアマネジメント部会が主催で、他部会も参加するのか?

A:講義部分については、他部会にも声をかける予定。

→家族支援の講座開催が決定。部会員からの意見を子ども発達支援センターの熊谷センター長に伝え、11 月 11 日は、1時間の講義と残りの30分で今後の活動について話し合う時間とする。

〈育成会との意見交換について〉

Q:11月の定例会に事務局が訪問し、意見交換会を開催することで、体験に基づいた意見を伺えたらと思うが、いかがか。

A: 既に11月の定例会のテーマを「親亡きあと」に決めており、育成会で行っている保険について話す予定になっている。

→育成会には、日程の都合から文書で依頼することになる。

〈障害福祉計画を見直すためのアンケートについて〉

家族支援について育成会に文書で伺うが、全数に発送する市のアンケートに家族支援の内容を盛り込むいい機会である。どのような内容を盛り込むか、アンケート内容について部会員より意見を伺いたい。(大橋)

- ・サービス利用者用の24頁の文言「ご意見がありましたら、ご自由にご 記入ください。」だと書かない人が増えると思うため、「困ったこと・ こういう助けがほしかった・必要だった内容をご記入ください」に変 更できると書きやすいと思う。
- ・市のアンケート調査の配布がゴールデンウィーク前で、尚且つ締め切りが早かった。事業所は休みだったが、本人達が理解して回答ができるように、支援者と本人が集まりアンケート読み解く機会を作っていたが、集まれずに全然回答ができない年もあった。余裕をもって答えられる期間がほしい。
- ・躓きポイント、支援が必要な年代、何がわからないのか等を知ること ができる問いや、どんな時に支援が必要で何で助かったのか、という ことを聞けるといい。
- Q:アンケートの対象者が、サービス利用者・一般・事業所・支援団体 だが、当事者のご家族に向けたアンケートは作ってはいけないの か?

A:ご家族向けを一つの意見として受け止めたい。

Q:アンケートはいつ頃に作成し、発送か?

A:いつまでにアンケートを作成するかは未定だが、前回の記憶では、 年明けに発送し、年度末か初め頃に回答がきたと思う。確認後に、 電子連絡帳ヘルピーネットにて共有したいと思う。

Q:市での今後の流れは?

A:おそらく検討部会を立ち上げ、1月の自立支援協議会本会議の報告 に間に合うように、介護福祉課担当から部会員に声が掛かり、メン バーが決まる。アンケートは発送前に内容を諮ると思う。

Q:育成会への聞き取りと市のアンケートとの関係は?

A: 育成会へは、部会として取り組む家族支援の参考とするため、聞き取りを予定したが、日程の都合で文書での依頼となった。内容としては、育成会に入ってよかったこと、情報を得られてよかったこと、成功体験などを想定している。市のアンケートは、障害福祉計画の見直しのためのものである。

→家族支援として家族に聞きたい内容を各事業所で考えていただき、電子連絡帳へルピーネットでご意見をいただく。期日については、介護福祉課より報告をする。

2 その他

3月は全体会になり、1月で部会が最後になるため、次回は来年度の内容を検討したい。(日岡)

3 本日の決定事項まとめ及び、次回の検討課題について

次第の各項目について、協議内容を再度確認した。

- ・(1)「にも包括ケアシステムの啓発」については、今年度は、にも冊子の更新を行った。来年度は冊子の啓発をする。啓発の予算は次年度の日進市社会福祉協議会の啓発予算にのせ、資材の種類については、期日を設け、部会員から電子連絡帳へルピーネットで意見を伺う。
- ・(2)「家族支援のあり方と意思決定支援の充実」については、11月11日に家族支援の講座開催を決定。部会員からの意見を子ども発達支援センターの熊谷センター長に伝え、1時間の講義と残りの30分で今後の活動について話し合う時間とする。
- ・育成会への聞き取りについては、文書で依頼する。
- ・障害福祉計画を見直すためのアンケートに盛り込む内容については、 各事業所で、家族支援として家族に聞きたい内容を考えていただき、 電子連絡帳ヘルピーネットでご意見をいただく。期日は、介護福祉課 より報告をする。

提出書類	別添のとおり		
次回開催日時	令和8年1月27日(火)		
次回会場	日進市障害者福祉センター 大会議室		

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部	『会名	第:	3 回	ケアマネジメント部会	
		令和7年	₣9月3	0 日 (火) 13 時 30 分 ~15 時 00 分	
会	場	場 日進市障害者福祉センター 大会議室			

専門部会員				
① 脇本 浩行 (欠)	② 興梠 精視 (欠)			
③ 磯村 有美	④ 福岡 玲奈			
⑤ 神谷 真里 (欠)	⑥ 竹内 由美子			
⑦ 滝川 智恵子(欠)	⑧ 小山 貴弘			
⑨ 久保本 藍 (欠)	⑩ 福田 有輝			

(市職員)

① 大橋 志乃	
---------	--

(事務局)

① 藤田 綾子	② 櫻木 順子
③ 渥美 則親	④ 宇佐美 香津美
⑤ 日岡 由季枝	⑥ 武末 拓也
⑦ 森田 敏湖	⑧ 西岡 きくの (欠)